学校番号	３１８

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	論理国語	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	「論理国語」　（数研出版）						
副教材等	プレミアムカラー国語便覧　（数研出版） 核心漢字 2500＋語彙 1000　（尚文出版） よむナビ現代文 2.5 修練編　（いいずな書店） 文学のとびらを開く　近現代文学名作選　（明治書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・２年次の「論理国語」で培った国語力をもとに論理的に物事を考え、問題解決を図る力を身につけましょう。
・「論理国語」では、様々な文章を「論理的に読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」を身につけていきます。
・予習、復習をしましょう。予習では本文を読み語句の意味調べ等を行い、復習では内容を振り返り記憶に残しておくことが大切です。
・小テストや定期考査に向けて、家庭学習の習慣をつけましょう。
・提出物の期限は守りましょう。

2　学習の到達目標

（ａ）常用漢字の読み書きができ、文章を読むために必要な語彙を増やし、文章の構造や論理展開の形式について理解できるなど、実社会で必要な国語の知識や技能を身につける。
（ｂ）文章の展開・構成を論理的に読み取ったり批判的に考えたりする力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を伸ばし、自分の思いや広げたり深めたりすることができる。
（ｃ）言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して社会と関わろうとする態度を養い、また学習について自分で見通しをもち、自分の成果を振り返りながら粘り強く取り組もうとしている。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにしている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において，論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1学期	・「新しい普遍性」という表現に込められた筆者の意図を読み取り、自分の生活と関連づけて考察する。 ［教材］ 「文化が違う」とは何を意味するのか？	ａ：言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ｂ「読」：人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。 ｃ：筆者の意見を踏まえた具体的事例を粘り強く分析し、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	小テスト 定期考査	定期考査	授業観察ノート 提出物点検 振り返り
	・「無意識のバイアス」の内容を理解し、筆者が述べる問題点を踏まえたうえで、具体例をあげて論述する。 ・「政治」に関する二つの文章を関連づけて読み、自分の意見を述べる。 ［教材］ 学問の政治性	ａ：言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 ｂ「読」：人、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 ｃ：文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	小テスト 定期考査	定期考査	授業観察ノート 提出物点検 振り返り
	・筆者の主張を踏まえて、「弱い人工知能」とは何か考察する。 ・「『生命』の発展にとって必要な技術」について説明する。 ［教材］ 人工知能はなぜ椅子に座れないのか	ａ：主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 ｂ[読]：人間、社会、自然などについて，文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。 ｃ：文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	小テスト 定期考査	定期考査	授業観察ノート 提出物点検 振り返り
2学期	・「物語」と「情報」の対比構造を読み取り、「テロル」としての「メディア」の具体的な内容をとらえる。 ・情報を発信・受信するためのメディアとしての文字、音声、画像などの特色をとらえて、その有効性や問題点を話し合う。 ［教材］ メディアのテロル	ａ：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ｂ[読]：人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。 ｃ：筆者の考えを的確に理解したうえで、積極的に適切な実例を考え、学習課題に沿って話し合おうとしている。	小テスト 定期考査	定期考査	授業観察ノート 提出物点検 振り返り
	・文章の筆者の意図をとらえ、批評する。 ・文章の組立てや進め方を工夫して書く。 ・自分や他の生徒が書いた文章を評価し、直すべき点を明らかにする。 ・相互評価がもつ機能を認識し、自分の表現を改善する。	ａ：文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ｂ[書]：立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫している。	文章構成	批評の観点 相互評価	授業観察ノート 提出物点検 振り返り

	［教材］ 小論文を書く	［書］：個々の文の表現の仕方や段落の構造を吟味するなど、文章全体の論理の明晰さを確かめ、自分の主張が的確に伝わる文章になるよう工夫している。 ｃ：読み手を意識した構成・展開を積極的に考え、学習課題に沿って説得力のある文章を書こうとしている。			
	・機械論的自然観、原子論的な還元主義、物心二元論といった哲学的概念の内容を読み取る。 ・「物心二元論」について起源や考え方を詳しく調べ、現代社会における功罪について話し合う。 ［教材］ 環境と心の問題	ａ：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ｂ［読］：人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深めている。 ｃ：筆者の考えを的確に理解したうえで、積極的に調べ学習に取り組み、学習課題に沿って話し合おうとしている。	小テスト 定期考査	定期考査	授業観察ノート 提出物点検 振り返り
３学期	・筆者の主張の根拠を、文章の構成や展開を踏まえて読み取り、「エコロジー」について自分の考えを深める。 ・筆者が「真の生態学的叡知」と表現する内容を具体的に考え話し合う。 ［教材］ エコロジーのミューズを求めて	ａ：文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ｂ［読］：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 ｃ：筆者の主張を理解したうえで自分の考えを深め、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	小テスト 定期考査	定期考査	授業観察ノート 提出物点検 振り返り
	・本歌取りの表現手法の内容について理解を深め、本歌取りについての筆者の考えを読み取る。 ・先人の作品を現代の読者に喚起する表現の例を具体的に考えて文章にまとめ、発表する。 ［教材］ 本歌取り	ａ：文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 ｂ［書］：実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めている。 ｃ：課題テーマについて積極的に具体例を考え、文章内容を参考にしながら、学習課題に沿って適切にまとめようとしている。	小テスト 定期考査	定期考査	授業観察ノート レポート 提出物点検 振り返り

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入してください。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　38　）時間

・読むこと　…　（　67　）時間